

今月の数字

23,646 件

【答えは裏面】



CONTENTS

カレンダー	1	データベースのお知らせ	3
今月のお知らせ	2	今月の雑誌の動き	3
三田祭に向けた情報収集: データベースの探し方 ..	2	貴重書紹介『エミール』	4
コラムー 開館 100 年いまむかし	3	よくある質問	4

図書館開館時間

	月～金曜日	土 曜 日	日曜日・祝日
通常開館日(無印)	8:45～22:00	8:45～18:00	休 館
短縮開館日(○印)	8:45～20:00		

※旧館は上記の 10 分前に閉館します。なお、書庫の利用は閉館時刻の 30 分前までとなります。
南館は上記の 40 分前に閉室・閉庫します。

※通常開館の平日(月～金)、新館を 8:30 から開館します。

10

2012
October

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1 夏季長期貸出 返却期限日 開館100年記念展 第3期(～10/13)	2	3	4	5 夏季長期貸出 返却期限日	6	7 休館
8 体育の日 休館	9	10	11	12	13 レファレンス カウンター 臨時 OPEN (～17:00)*	14 休館
15	16	17	18 新聞週間展示 (～10/31) 10/27	19	20 レファレンス カウンター 臨時 OPEN (～17:00)*	21 休館
22	23	24	25	26	27 レファレンス カウンター 臨時 OPEN (～17:00)*	28 休館
29	30	31				

* 11:30～12:30 はのぞく

※開館時間は授業日程や節電等の影響により変更されることがあります。館内の掲示やホームページ等でご確認ください。

※夏季長期貸出図書(三田)の返却期限日にご注意ください。

第24回 慶應義塾図書館貴重書展示会

ルカ・パチョーリの『スُمマ』から福澤へー複式簿記の伝播と会計の進化

明治初期、福澤諭吉訳『帳合之法』の二編などによってわが国に紹介されたのは複式簿記でした。「イタリア式簿記」とも称されるこの簿記は中世ルネサンス期のイタリアに生まれ、数学書『スُمマ』などをもってネーデルラントやイギリスに伝播、資本主義経済の発展と会計の進化を支えました。本展示会はこの伝播の軌跡を辿ります。今回は 8 年ぶりに丸善・日本橋店での開催となります。ぜひご覧ください。

会 期: 2012 年 10 月 24 日(水)～10 月 30 日(火)

会 場: 丸善・日本橋店 3 階ギャラリー

9:30～20:30 最終日 17:00 閉場 入場無料

主 催: 慶應義塾図書館 協 賛: 丸善株式会社

友岡賛(慶應義塾大学教授)によるギャラリートーク

10 月 26 日(金)／10 月 27 日(土) 両日とも 14:00～14:20



今月のお知らせ

夏季長期貸出(三田)の返却期限

長期貸出された三田所蔵資料の返却期限日は、7月27日までの貸出分は**10月1日(月)**、7月28日以降の貸出分は**10月5日(金)**となっています。期限を超過すると、1冊につき休館日を含めた1日10円の延滞料金が課せられますので、遅れずに返却してください。

展示のお知らせ(図書館1階展示室)

TEMPUS FUGIT—時は過ぎゆく 慶應義塾図書館開館100年記念展

第Ⅲ期:「人類の英知を未来へ繋ぐ」 10月1日(月)～13日(土)

新聞週間 10月18日(木)～~~31日(水)~~ **10/27(土)**

※併設ミニ展示: 池田弥三郎歿後30年記念展示 10月16日(火)～11月2日(金) 展示室前展示ケース

秋のライブラリーオリエンテーション申込み受付中

ゼミやクラスのテーマにあわせて、必要な資料の探し方やデータベースの使い方を紹介しています。

- 文献探索ツアー／希望のテーマにあわせたデータベースや基本資料の紹介と図書館内ツアーです。文献の探し方や図書館のいろいろなサービスについて案内します。3名以上で申し込んでください。申込期限: 1週間前
- データベース体験講座／パソコンを1人1台使うデータベースの検索実習です。7名以上で申し込んでください。申込期限: 2週間前

所要時間: 60分もしくは90分 実施時間: 平日 9:00～18:00

申込方法: 図書館1階レファレンスカウンターに申込票を提出してください。

申込票(PDF)はホームページからもダウンロードできます。☞ <http://www.mita.lib.keio.ac.jp/services/ref/orientation>

三田祭に向けた情報収集: データベースの探し方

メディアセンターでは数多くのデータベースを契約しています。データベースをうまく使って情報を収集し、論文やレポート、発表に説得力を持たせましょう。

契約データベースを探すには、データベースナビ(<http://www.mita.lib.keio.ac.jp/dbnavi/>)を利用します。データベースナビでは学問分野や資料タイプ(雑誌記事、統計データ、新聞記事など)から、目的にあったデータベースを探ることができます。主要なデータベースを分野ごとに一覧する場合は、「Webで使うデータベース」を選択します。

▼統計や企業情報、新聞記事を探す

・「日経NEEDS」

日本経済新聞社が提供する総合経済データベースで、経済、企業財務、地域など幅広い領域をカバーしています。統計数値は、csv形式でダウンロードすることができます。

・「OECD iLibrary」

OECD(経済協力開発機構)発行の出版物や統計を収録しています。

・「eol」

国内企業の財務情報やマーケット情報、有価証券報告書などを収録しています。

・「日経テレコン21」

日本経済新聞の記事を検索し全文表示することができます。その他にもスーパーやコンビニのPOSデータ、企業データなどを収録しています。また、他の国内主要紙や、日本の英字新聞、海外新聞のデータベースも契約しています。

▼外国語の論文を探す

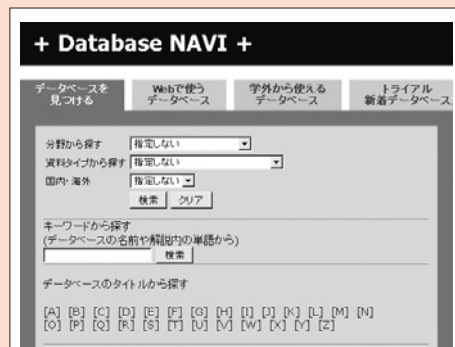
・「EBSCOhost」

・「ProQuest」

日本語の論文はKOSMOS論文検索で探すことができますが、外国語の論文は分野に応じてデータベースを選択する必要があります。EBSCOhostとProQuestでは、様々な分野の論文データベースを一つのインターフェイスで探すことができます。

※学部学生・大学院生・常勤教職員の方は、keio.jpを使って学外からもデータベースを利用することができます(「keio.jp」マークがあるデータベースのみ)。

※データベースは学習や研究を目的とした利用に限ります。ルールを守って利用してください。



コラム 開館100年いまむかし

2012年は、慶應義塾図書館開館100年にあたります。このコラムでは、100年の間のさまざまなエピソードをご紹介します。

ゲタをならして奴がくる～

「我が良き友よ」の歌詞ではないが、新館開館前の昭和40～50年代、素足にゲタ履きという学生は珍しくなかった。床が石造りあるいは木製の図書館旧館では、館内静粛のためとしてゲタ履きでの入館を断っていたが、受付のおじさん（とみんなが呼んでいた用務員さん）のところに履き替え用のスリッパも用意されていた。ゲタからスリッパに履き替えて入館することを習慣にしている学生も少なくはなかった。

当時の「受付業務の心得（手引き）」（昭和42年8月）によると禁止事項の項目に、禁煙（例外場所：地下談話室、ベランダ）、騒音の禁などとともにゲタ履きの禁止が書かれている。この「受付業務の心得」については、「受付の心得（手引き）成立経過報告」というメモが残っている。それによると、昼夜の出納手（閉架書庫から本を取り出す等の業務を行う係）の間で受付業務処理の統一を図ろうと同年3月に合同会議がもたれ、上記心得の考案をはじめ、同時に受付日誌、外来者控簿を開始することとなったようだ。当時、昼間は他大学の夜間部の学生が、夜間は慶應義塾の学生が主として出納手を務めており、昼夜にそれぞれ職員の出納長がいた。

いまはゲタ履きの学生をみかけることはなくなったが、もし来館してもスリッパの用意はない。

嘘のような話 — 新旧図書館をつなぐトンネル？

新図書館は1980年3月に着工、1982年4月に開館した。新館をどこに建てるかについては、塾監局前広場や大学院棟の場所など何案か候補があがり検討が進められたが、福澤公園を狭めて正門からのスロープを公園寄りにしてできる現在のスペースに最終的に決まろうとした頃、議論のなかでまじめに出された意見があった。旧館と少し距離ができるために、塾監局前に両館をつなぐトンネルの地下通路をつくってはどうか、あるいは電動カートを購入して、両図書館間の資料の運搬に使うべきではないかということである。大学内での電動カートの利用は例がなく、画期的なアイデアでは、ともいわれた。無理だろうなと思いつつ、ちょっとウキウキしたのも覚えている。

旧館時代、図書・資料は旧館と、渡り廊下でつながる研究室棟の東側に置かれていた。また図書の受入整理部門の事務室も研究室棟に位置していた。つまり、図書の移動に建物外にでる必要は全くなかった。教員からは、新館は研究室から遠い、という利用上の苦情も寄せられ、雨が降ったら、台風の時はどうするんだ、という声にこたえるためのアイデアだったのだろう。結局、費用、安全性その他の面でどちらも却下され、いまも図書館ではちょっと凸凹のキャンパスをブックトラックで図書の運搬を行っている。嘘のような本当の話である。（A.I.）

データベースのお知らせ

新規データベース

●メディカルオンライン

メディカルオンラインが三田キャンパスでも利用できるようになりました。医学文献の検索や全文閲覧をはじめ、医薬品・医療機器・医療関連サービスの情報を幅広く提供する医療関係者のための総合情報サイトです。

今月の雑誌の動き

新規

Facta=ザ・ファクタ（ファクタ出版）7（8）（2012）－
障害学研究=Journal of disability studies（障害学会）1（2005）－
適塾（適塾記念会〔編〕）1（1956）－
郵貯資金等の動向（ゆうちょ財団ゆうちょ資産研究センター）23（2011）－

誌名変更

三菱UFJ信託資産運用情報（三菱UFJ信託銀行投資企画部）1（2012）－
前誌名：三菱UFJ信託銀行調査情報
日中環境産業=Japan-China environmental industry（環境コミュニケーションズ）48（7）（2012）－
前誌名：資源環境対策

廃刊・休刊

現代教育科学（明治図書出版）－55（3）（2012）
月例経済報告（経済企画庁）－24（2）（2012）
法人企業景気予測調査（内閣府経済社会総合研究所景気統計部）
－24（6）（2012）
世界経済の潮流（内閣府政策統括官）－2011（2）（2011）

貴重書紹介

『エミール』 ジャン・ジャック・ルソー パリ 1762年

ROUSSEAU, Jean-Jacques. *Émile, ou De l'éducation*. A La Haye : Chez Jean Néalme, libraire ; [i. e. Paris : Duchesne], 1762. 4 v

ジャン・ジャック・ルソー(1712-1778)は、スイス、ジュネーヴ出身のフランスで活躍した思想家です。教育思想家、作家、作曲家など多才な才能に恵まれたルソーが探求したテーマは、哲学、政治、文学、教育、音楽、自然と広範囲にわたり、彼の著作は、広く読まれ、フランス革命からそれ以降の社会思想に多大な影響を及ぼしました。

『エミール』は、『人間不平等起源論』、『社会契約論』と並ぶ、ルソーの主要著作であり、教育思想史の代表作の一つです。副題「教育について」が示すように、教育によって人間は自由になる、と新しい人間観、教育観を示しています。

本書は、理想的な家庭教師が、富裕な孤児エミールという平凡な人間を、誕生から一人前になるまで、自然という偉大な師に従って導いていく過程を描いた小説形式の教育論であり、人間は立派な者として生まれるが、社会がその人間を堕落させる、という根本命題に立ち、人間形成における自然思想を展開した著作です。また、教会無視も本書の特色で、『社会契約論』と共に異端説とされ、この二冊は、禁書に指定され、焚書の憂き目を見ることになります。ルソーは活動していたパリから追放されることとなり、イギリス、スイスを転々と放浪することになったのです。

2012年は、ルソー生誕300年の年にあたります。生誕300年祭は、演劇、コンサート、討論会など、誰もが参加できる数多くのイベントが、共に祝う大型のプロジェクトとして、生地をはじめ世界各国での開催が予定されています。また、来年2013年は、『百科全書』を編集した、ディドロの生誕300年にあたります。フランス啓蒙思想にとっても節目の年を迎えているといえるでしょう。慶應義塾図書館には、前述の3点をはじめ、ルソーの著作については、初版本を豊富に所蔵しています。



よくある質問

Q: パソコンはどこで使えますか？

A: 図書館新館のデータベースエリア(1・3・4階)には、電子ジャーナルやデータベースを利用するための専用パソコンがあります。また、各フロアには持込みのパソコンを利用できる席があり、『パソコン・電卓利用可能席』のステッカーが貼られています。閲覧席全体の約4割にあたる席での利用が可能になっていますので、閲覧する資料や目的に合わせて適切な席を選んで利用してください。レポートやプレゼンテーション資料の作成には、南校舎のPCラウンジ、大学院校舎のPCエリア、パソコン室等のパソコンを利用してください。

参考: 持込パソコン等が使用可能な閲覧席 ➡ http://www.mita.lib.keio.ac.jp/services/pcnetwork/pc_area

今月の数字
答え

KOARA (KeiO Associated Repository of Academic resources: 慶應義塾大学学術情報リポジトリ) に収録されているデータ収録総数36,042件のうち、本文が収録されている論文の件数です(2012年8月末現在)。「史学」や「三田商学研究」は創刊号から、「法学研究」は84巻4号から収録されています。また、全文閲覧不可の約12,000件には、全文PDFファイルの利用が学内のみに限定されている「三田学会雑誌」(創刊号から収録)約10,600件が含まれています。

KOARAは、慶應義塾大学の知の発信と保存を目的として、慶應義塾大学内で生産される学術的資産を電子的な形態で収集・蓄積し、国内外の誰もがアクセスし利用できるようにWeb上で公開するものです。Google ScholarやCiNiiからも検索できるようになっています。ぜひご利用ください。

三田メディアセンターニュースは、ホームページでもご覧になれます。
http://www.mita.lib.keio.ac.jp/guide/publication/mc_news/

発行所 慶應義塾大学 三田メディアセンター
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL 03-5427-1654 FAX 03-5484-7780
発行日 平成24年10月1日
印刷 有限会社 梅沢印刷所